

北陸農政局長賞受賞

～子どもたちが戻りたくなる魅力あるむらへ～

おじまかんきょうほぜんこうじょうたいさくきょうぎかい

受賞者

小島環境保全向上対策協議会

(富山県となみし砺波市)

■ 地域の概要

砺波市小島地区は、富山県南西部に位置する農村地域で、肥沃な扇状地に展開する農地に古くから水稲作が行われ、「カイニョ」と呼ばれる屋敷林を備えた家屋が点在する、風光明媚な散居集落により形成されている。

近年、農業者の高齢化や若者の農業離れ及び混住化等の進行に伴う、集落機能の低下により、地域の共同活動により支えられていた農業・農村の多面的機能発揮に支障が生じつつあった。



位置図

■ 主なむらづくりの内容

平成19年から、多面的機能の活動組織「小島環境保全向上対策協議会」を設立し、農地、水路等の地域資源の適切な保安全管理と、子どもを中心とした環境学習と生態系の保全向上、地域住民を巻き込んだお祭りや伝統行事「やらやら」「左義長」及び「ヨータカ」などを保存する取組を継続している。構成員の積極的な参加により、老若男女の世代を超えたむらづくりが行われ、農業者と非農業者のコミュニティが醸成している。

また、関係団体の（農）おじま営農組合は、米の乾燥調製施設を完備し、集落内の農地9割を耕作し、米、麦、大豆、冬たまねぎ、にんじんなどを生産し、効率的な農業経営が行われている。

農業の健全な発展に加え、地域の共有財産として屋敷林やビオトープの保安全管理が行われており、お祭りなどの伝統文化が継承され、地域の活性化につながっている。



写真1 ビオトープと公園の清掃



写真2 伝統行事「やらやら」
の保存



写真3 たまねぎの加工品